

武道授業における指導 実践研究（事例報告）

<h1>ダンス</h1> <p>みんなと踊る楽しさを感じながらリズムを感じて ダンスを工夫し発表する</p>	<p>肝付町立高山中学校（鹿児島県）</p> <p>電話番号 0994-65-2571</p> <p>メールアドレス kojhs_vp@kimotsuki.ed.jp</p>
--	---

●実践研究のねらい

- リズムの特徴を捉え、グループで動きを組み合わせるの表現を工夫する。全身での動きを意識しながらダンスを組み立てる。
- 発表の時間を確保し、互いに意見を出し合いながらよりよいものに仕上げるための工夫を行う。
- 外部指導者の活用については、リズムの表現、具体的な動き、ステップなどのダンスの基本を指導しながら発表において的確なアドバイスをを行う。教師はグループ内の役割が機能しているか確認し潤滑に活動できるように支援する。

●指導モデル 第1学年（2学級82名（うち男子41名））

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
種目	ダンス										
学習の流れ	オリエンテーション	導入（健康観察、準備運動、前時の確認、本時の学習の見通し）									
		基本動作の学習	基本動作の学習			基本動作の確認			前時までの発表		
	基本動作の学習		創作活動（グループ）			創作活動（学級ごと）			創作活動（学級ごと）		
			発表						発表		
	発表準備										発表・相互評価
整理（整理運動、本時の振り返り、次時の連絡）											

●指導の工夫

1 効果的に指導するための工夫

- 指導内容
 - リズムのとらえ方、手拍子や足拍子などの動きの工夫、ステップなどの具体的な動きを指導する。
- 生徒の視覚的な理解を促す資料の充実
 - 発表の時間を確保し、グループごとに映像でふり返ることによってよりよい作品の完成を目指す。また、全員で話し合いながら作品を作り上げる学習場面を設ける。

2 生徒の安全を確保するための工夫

- 安全な運動の行い方の理解
 - オリエンテーションで、外部指導者より安全な運動の仕方について説明を受ける場を設ける。
- 単元を通じた学習
 - 難しい動きを取り入れるよりも簡単な動きを工夫することにより、リズムの表し方を考えさせたりして、安全に取り組める工夫をする。

●授業の様子



【基本動作の指導】

リズムを感じながら、体全体を使って表現する工夫を行い、グループでダンスを作り上げる。外部指導者から指導することにより、基本的なステップや具体的な表現の方法を学んだ。



【発表（学級ごと）】

学級ごとに工夫し、リズムに乗ったダンスを創作し発表した。また、ビデオに撮り、映像を確認しながら授業ごとに改善を加えながら完成に向けて全員で取り組んだ。

●生徒の意識、感想、変容など（中1男子（41名））

<p>1 これから始まるダンスの学習への興味はありますか。（ダンスの学習開始前）</p>	<p>2 ダンスの学習は楽しかったですか。</p>	<p>3 2年生でのダンスの学習は興味がありますか。</p>
<p>■ある ■少しある ■あまりない ■ない</p>	<p>■楽しかった ■やや楽しかった ■あまり楽しなかった ■楽しなかった</p>	<p>■ある ■少しある ■あまりない ■ない</p>

●成果と課題

- 学習前にはダンスに興味を持っていない生徒が多かったが、常に曲を流しながらリズムを感じて取り組める雰囲気づくりを行った結果、積極的に学習に取り組み意見を出し合いながら楽しく活動することができた。なかには苦手と感じる生徒もあり、他の生徒の指示を受け取り組んでいた生徒も見られたので、生徒に応じた支援の方法が必要である。
- 外部指導者が簡単な動きから基本的なステップなどポイントをわかりやすく指導した結果、すぐにコツをつかんだ生徒が多く、また、生徒間で教え合うなどの姿も見られ、技能の習得と共に楽しさを感じる生徒が多かった。
- 外部指導者による専門性の高い指導が興味を引き出し、積極的に取り組む生徒が多くみられたが、教員は生徒の安全管理に終始してしまう状況もあり、外部指導者との役割分担や連携を明確にした指導計画について、引き続き、検討していく必要がある。

